

## 公開シンポジウム

# サステナビリティ学が目指す未来

サステナビリティ学は、21世紀における人類存続のキーワードのひとつであるサステナビリティについて、その概念から方法論、実社会への応用までをも広く包含した超学的な学術分野です。

「気候変動のような長期リスクと激甚災害のような短期リスクの双方に対応した社会とは？」「西欧的な合理性とアジア的な共生理念の融合とは？」「目指すべき到達点としてのサステナブルな社会と、そこに至るプロセスのデザインとは？」といった、環境と社会のサステナビリティにかかわる様々な問いに対し、holistic, resilient, transboundaryをキーワードに、その方向性を展望する...

本シンポジウムは、博士課程教育リーディングプログラム「サステナビリティ学グローバルリーダー養成大学院プログラム」の開設を記念し、同プログラムの母体の一つである「アジア環境リーダー育成プログラム」との共催により、サステナビリティ学の新たな方向性を展望すべく開催するものです。

日時： 2012年4月21日(土) 10:00～12:00

場所： 千里ライフサイエンスセンター（大阪府豊中市）

<http://www.senrilc.co.jp/access/access.html>

入場無料・事前登録不要

## プログラム

10:00-10:20 開会挨拶ーサステナビリティ学が目指す未来ー

味埜 俊（新領域創成科学研究科 副研究科長）

10:20-10:50 レジリエントな都市・地域計画

横張 真（新領域創成科学研究科 教授）

10:50-11:30 地球温暖化をめぐる諸問題

住 明正（サステナビリティ学連携研究機構 教授）

11:30-12:00 パネルディスカッション

味埜 俊・住 明正・横張 真

福士謙介（サステナビリティ学連携研究機構 准教授・司会）